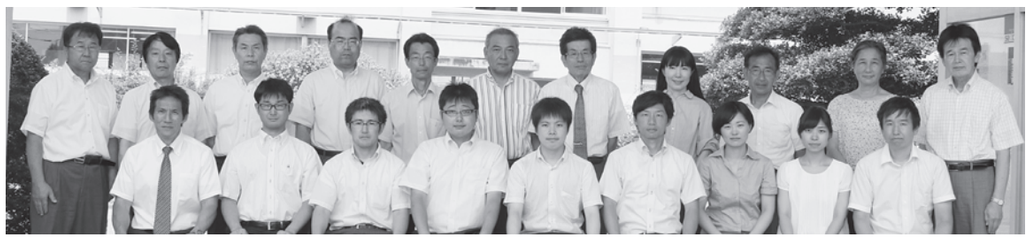
一宮西高新聞

発行所
愛知県立一宮西高新聞部
一宮市萩原町串作河田1
電話一宮（68）1191
株式会社 大東社
電話一宮（62）1168

教科書・補助教材・一般書籍・雑誌
文具・事務用品・家具・教材
松清本店
稲沢市高御堂1-2-1
電話 0587-32-0048
FAX 0587-21-7419



卒業おめでとう

AIの時代に

校長　井中宏史

AIの普及によって人の仕事が減るとか言われています。本当でしょうか。

先日、新日鉄の工場見学に行ってきました。最新の設備で、オートメーション化され、とっても広い厚板工場は見る限り無人でした。働いているのは、オペレーションルームの二人ほどだけだそうです。ところが、名古屋製鉄所全体では正社員で三千名、出入りしている関連企業の人を含めると一万人以上が働いています。その人たちはどこにいるのかと聞いたところ、「稼動している工場には人はいません」が、止まっている高炉や、点検中の箇所では大勢働いています。」という回答でした。点検・改良・メンテナンス。機械に任せたといっても、その背後には常に人間が必要なのですね。

最近、電気自動車へのシフトが急激に起こっています。電気自動車はAIによって制御され、自動運転になるかも知れませんが、運転する楽しみはどうなるのでしょうか。電気自動車が大量生産されるようになれば、製造ラインから人は消えるかもしれませんが、実際には製鉄所のように多くの人が必要です。それに、電気自動車が普及したとしても、人はまた次の何かを開発しようとするはずです。

すべて機械がやってくれるから、人は働かなくて良い、そんな夢のような社会はちょっとゾッとします。社会のあり方をデザインするのは人間でしょう。AIが優れているからといって、将棋やスポーツでロボット同士の対戦を見たいでしょうか。楽しい未来を創るのは、やはり人でなければなりません。

どんな時代が来てもそれを楽しみ、変化に対応できる学力と体力を備えた人が必要です。勉強以上に部活動に熱心に取り組み、大学受験にも正面から取り組み、西高祭や予餞会を大いに楽しんだ西高生のみなさん、自信を持って未来を切り開いていく担い手になってください。夢のある未来を創って行く主役はAIではなく君たちです。

理想の自分を目指して

学年主任　伊奈和俊

『ずっと探してた理想の自分って、もうちょっとかっこよかったけれど、僕が歩いてきた日々と道のりを本当は自分というらしい』

諸君らには、理想の自分があるだろうか。

ある講演で人生は三万日であると言っていた。諸君らが大学生活を送る頃には、人生の四分の一が終わることになる。なりたい自分をもっていなければ人生はあっという間に過ぎてしまう。

先の詩は、「プロフェッショナル仕事の流儀」の主題歌である。自分の理想を実現するため自身を研鑽し続け、その生き方を示した番組である。

諸君らの一部から大学に入るまでにこれだけ勉強したのだから、大学ではもう勉強をしたくないという声が聞こえる。大学（大学院）は自分の専門を深め、その道のプロフェッショナルを目指す場である（はずである）。諸君らが学ぼうとしなければ、何も得るものがない四年間になる。日本の大学は他国の大学に比べ、ただなんとなく四年間を過ごす学生が多く、文系の大学でその傾向が強い。

他国の大学はどうであろうか。例えば、欧米の大学は日本と比較して卒業しにくいといわれている。特に、英米の伝統校は、その傾向が強い。少ない種類の講義をより掘り下げて行い、課題の量も多く、一定の成績を取り続けなければ退学になる。また、大学〈の成績は、その後の就職や大学院進学に直結する。米国では医学部などの専門は大学院にあり、大学の成績で入学が決まる。それに対し、日本では、ほとんどの講義が多人数の一斉講義で課題も少ない。挙げ句の果てに、三年生の冬（経団連に属していない企業、外資系等）から就職活動が始まり、学ぶ期間が著しく短くなっている。

戦後欧米を模倣し、追いつけ追い越せで今の日本がある。そのころの企業は、入社してから学生を育てればよかったので大学に教育力を求めなかった。そのため、企業は人より大学名を見て採用を行ってきた。今もその傾向は残っている。

日本のPISA（十五歳での学習到達度調査）の平均点が世界でも上位であるにも関わらず、日本の大学は英のTHE（Times Higher Education）社の世界大学ランキングでトップ二百に二校しかランクインしてない。隣の中国は七校、韓国は四校なので、母国語が英語でないことだけが理由ではないことがわかる。ましてや、入学者の学力レベルが低いからというわけでもない。

日本の大学はプロフェッショナルを目指す場所であるはずなのに、仕組みとして学ぶということに特化していないように見える。しかしながら、学生、大学ともにそれに胡座をかき、四年間を過ごすのはあまりにもったいない。

理想の自分はあるだろうか、人生は短い、これから始まる大学生活をどのように過ごしていくかで諸君らのこの先の人生は変わってくる。やりたいことは自分から動いて得るものである。ただ楽なところに流されるだけでは何も得られない。

諸君らの人生が素晴らしいものになることを願っている。

卒業生に贈る言葉

一組（副担）水野光平
西高は県下有数の二番手校です。
二番手校にはそれなりの意地もプライドもあります。
そして伝統に培われた品格があります。
誇りを持ってこれからを精一杯生きて下さい。

二組（担任）鈴木里矢香
卒業おめでとうございます。どんな進路に決まっても、自分の頑張り次第で未来はどのようにでも変えられます。これからの人生を楽しんでください！

二組（副担）早川和美
もう少しで全ての人の頭上に桜が咲きます。新しい場で、今の自分を精一杯生きて、人生の最終目標「幸せ」になって下さい。
Happiness consists in contentment.

三組（担任）伊左治里帆
卒業おめでとうございます。与えられた物に満足せず、自ら知識・経験を求めて行動してください。そこに喜びと成長が待っています。成長した姿を見せに来てください。

三組（副担）水谷治雄
卒業おめでとうございます。母校で後輩とともに過ごし、とても楽しかったです。ありがとう。さらに成長した姿を見せにきてください。

四組（担任）田舎片一司
ご卒業おめでとうございます。
「初志貫徹」
ここからがスタートです。今の思いを忘れずに、何事もチャレンジしてください。
成長した姿を楽しみにしています。

四組（副担）黒川綾美
「成功は自信から、自信は日々の努力から。」卒業おめでとう。これから先の人生、まだまだ長い道のり、努力することを忘れずに人生を楽しんでいって下さい。

四組（副担）堀江　昭
希望さえあればどんなところにでもたどりつける。転んでも何度だって立ち上がろう。
『夢』に向かって進む人生は栄光に満ちあふれているでしょう。

五組（担任）妹尾岳彦
Bloom where God has planted you.
卒業おめでとう！これからは、それぞれの場所でしっかりと根を張り、花を咲かせて下さい。

五組（副担）西原正佳
「塩胡椒を少々」の「少々」って実際どのくらいなんでしょうか。時には醤油を垂らしてみたり。人生は試行錯誤なんですね。失敗も計算のうち。挑戦あるのみ！

六組（担任）山本亮介
卒業おめでとう!!勉強に部活に学校行事にすべてにおいて頑張った西高生なら必ず成功する!!自信を持って次のステップに進んで下さい！三年間ありがとう!!

六組（副担）野村周司
卒業おめでとう。自由と自律。意味することを噛み締めて暮らして欲しい。

七組（担任）水谷　悟
ご卒業おめでとうございます。西高で得た仲間と経験を基に、目指す夢に向かってよく学び、花開くことを期待しています。未来へ「進みゆかん　いざ！」

七組（副担）遠藤和彦
Be positive
Be inquisitive
Be passionate
Good luck!

八組（担任）中山義康
社会に出ても必要だと思うこと。挨拶、お礼、謝罪、依頼。卒業おめでとう。一年間ありがとう。在学中に伝えきれずすみません。この四つ、実行していただけませんか。

八組（副担）小澤浩一
どんなに立派な話を聞こうが、経験に勝るものはありません。何でも経験すべきです。

九組（担任）脇田和幸
君たちは一宮西高校という大きな山を乗り越えた。しかし、これから先もまだまだ山は続く。弱音を吐くな！十年・二十年後に、大きく成長した社会人として活躍していることを願っている。

九組（副担）平澤　稔
一四三九、この数字が何かわかりますか。これは三年生の期待に応え、何とか力になりたいと考えた結果、上り詰めた数字です。まだ百や二百は増えそうです。
さてなんでしょう。

予餞会

二月十九日金曜日晴天の中、名古屋文理大学文化フォーラムにて平成二十九年度予餞会が始まった。当日はインフルエンザに感染するおそれがあったため、ほとんどの生徒がマスクを着用していた。

始めの生徒会長挨拶では生徒会長と犬に扮した校長先生の掛け合いがさっそく会場を沸かせた。劇では二年七組「Never give up ～ロミネバ～」がロミオとジュリエット、二年八組「Judgement on Alice」が不思議の国のアリスなどの古典に今年流行したギャグを取り入れてオリジナルの脚本を作りあげた。また、二年一組「先輩と先生とビリギャル」は独特の世界観を繰り広げた。クラスで劇に挑戦した一年生の中からは衣装や小道具、脚本のクオリティの高さに驚き、「来年自分たちにこんなものが出来るだろうか。」という声もあった。しかし合唱では一年生が一位二位を独占し、一年三組「僕のYELL君に届け」と一年五組「ボクノート・糸」が美しい歌声を披露した。ダンスをしたり、小道具を持ったりするなどそれぞれに工夫がみられた。さらに予餞会を盛り上げたのは三分間スピーチである。各クラスから選びぬかれた精鋭たちが羞恥心を捨てて演じたコントから目を離せず、結局トイレ休憩に行けなかった人もいるだろう。また、三年生の先生方と生徒会による「シークレット」ではいつもの姿とは違った先生方の姿を見られたと好評だった。三年生の先輩方への感謝とエールがこもった予餞会になったに違いない。

（戸田）

合唱優勝クラス　1の5

劇 優勝クラス　2の8

＊生徒会長　神谷颯汰君
今年度の予餞会は、三年生への感謝の気持ちを爽やかで透き通るような歌声で表現してくれた合唱二クラス、「あきらめない気持ち」の大切さをメッセージとしてオリジナリティあふれる物語を発表してくれた劇三クラス、惜しくも選ばれなかったけれど、独自のネタやパロディネタを用いて三年生への応援の気持ちを伝えてくれた方々のおかげで、おそらく三年生の心に残るであろう素晴らしい予餞会にすることができました。僕たちの三年生への激励の気持ちが、この予餞会を通じて少しでも伝わっていたら嬉しいです。

＊文化委員会委員長　牛田華乃さん
今までお世話になった三年生の先輩へ、感謝と感激を届けることができた温かい予餞会になりました。普段なかなか言葉にできない思いを、合唱や劇を通して伝えることができたのではないかと思います。予餞会の運営に参加できて良かったです。ありがとうございました。

論説

君たちはどう表現力を身につけるか

突然だが、皆さんの中には自分の考えがあってもうまく表現できずに人に伝えられなかったり、なんとなく「あの人の考え方でいいや～。」と人と同じ考え方のまま伝えていたりしている人がいるだろう。これを書いている私だってそういう人々の一人である。このような現象の背景には機械化やSNSの発達によって世界が画一化に向かっていることが関係していると思う。スマートフォンやタブレットが発達してきて、今の時代、スマートフォンでの情報チェックがどの人にとっても生活の一部となってしまった。それによって、メディアの与える影響が格段に増えた。さらに言ってしまうと、現代は大衆社会である。『大衆社会とは大衆の動向が強い影響を与える社会のことであり、大衆とは、他人の意見に引きずられ、感情的に判断して行動する人々のこと。』（読解評論文キーワード　薩摩書房　斎藤哲也編著より引用）

例えば、インターネットで人が悪く叩かれている記事を見てすぐ、「あ、あの人って悪いのか。」と判断してしまう。この状況は人々がインターネットやマスメディアの意見を信用してそのまま自分の意見としているということである。このように、メディアは拡大してきているし、インターネットの意見が国民の意見になってきている。

最近はよく「成果主義」「能力主義」の時代だと言われている。「自分はこんな良い所があります！自分はこんなことができます！」と自分をしっかりアピールしなくてはいけない時代。そのためには一人一人が表現力を身につけることが大切である。しかし現代では、人々はメディアの意見をそのまま自分の意見としている。そこで表現力を身につけるためには大まかに二つのステップを踏めばいいと私は思う。一つ目は知識を蓄えて自分の意志や考えを持つこと。二つ目は自分の意志や考えを相手に分かるように伝えることである。

一つ目の知識を蓄えて自分の意志や考えを持つことについては、書道の林先生にこのような趣旨のことを言われた。『いろいろなことを試して、その中で自分なりに「いいな。」と思ったことをどんどん混ぜていって自分流のものを作ればいい。』このことを具体的に記すと、何らかのものについていろいろなことを調べる。本、新聞、インターネット、人に聞くなど方法はいくらでもある。ただ注意することとしてインターネットの一つの記事や一冊の本からのみ考えることはいけない。その事柄を一面的にしか見ていないことになってしまう。本質的に物事を見る必要があるので、多角的に調べないと知らなかった意外なことは見つからないかもしれない。次に、「いいな。」と思うことを混ぜ合わせる。調べてわかったことで心に響いたことや「いいな。」と思ったことをまとめあげる。最後に混ぜ合わせてできたことをふまえて考える。まとめあげたものに対して、自分はどう思うか。賛成か反対か。このようなことを考える。これで完成である。

また、事柄を転換して考えることもできる。例えば世間でよく言われていることや、決まりきっていることを否定してみる。すると思いもよらなかった考えが思いつくかもしれない。また逆からみると物事の本質が分かったり、新鮮さが生まれたりするかもしれない。

二つ目は自分の意志や考えを表現すること。自分で作った考えを相手に話すときの方法も一つ目の考え方と同じである。まず本や新聞に載っているエッセーや記事をたくさん読む。そこからどんなところが自分にとって「いいな。」と思ったのか、ということを自分で探してみる。次に、「いいな。」と思うやり方や手法をどんどん取り入れて実践してみる。最後に自分に合ったやり方を混ぜ合わせて自分流の伝え方を作って完成。前にやり方を一通り書いたが、何より大事なことは『相手を意識すること』である。大切なことは相手が自分の考えを少しでも正確に理解できるように言葉を尽くすことだ。このようなステップを踏んで表現力を身につけると良いと思う。

これは自分の考えだが、最近の日本は大多数の人の考えに人々が賛同していく傾向があったり、現状維持を願っている人が多かったりするのではないかと思う。「大多数の人」って何だろうか。本当にそれでいいのか。調べなくていいのか。

「現状」。現状のままで日本や世界がどうなっていくのか理解できているのだろうか。私は人々がメディアによって自分の考えを操作されていると思う。なぜなら最初に書いたが、今人々があまり考えもせずにメディアの意見を自分の意見として持っていることが多いと私が考えているからだ。一つのメディアで報じられていることが「正しい！」と思わず、自分でまず考え、それを相手に正確に伝えるために、必要な表現力を今一人一人が身につけていくことが大切である。また現在起こっていることを人ごとだと思わずに常に問題意識を持って生きていくことも大切である。

（浅沼）

計量器・OA機器
事務・学用品・書籍
紙徳商店
一宮市萩原町萩原
TEL 68－0034
69－4121
FAX 69－2466

おコメの新しい価値を創出し、
生活文化の向上に貢献する。
Rice Creation
共和食品グループ
株式会社名古屋食糧
〈本社〉名古屋市中村区名駅南二丁目2番24号 TEL.052-581-0351(代)
［事業所］愛知県一宮市・瀬戸市・海部郡飛島村・東京都千代田区・大阪府東大阪市・石川県羽咋郡 ［関連会社］株式会社静岡食糧／静岡県静岡市 RICE CREATION(THAILAND)CO.,LTD.／タイ現地法人
事業内容 ◎米穀製品の企画・開発・製造・販売 ◎直販店舗の運営（おにぎり・お弁当販売、レストラン） ◎インターネット直販サイトの運営 ◎給食受託 ◎仕出し料理、ケータリングサービスの企画・運営

お昼休みに
手作りパンの販売をしています。
ふれあいサロン さんさんガーデン
さん・さん萩原
一宮市萩原町中島字番所48-1番地
☎0586-69-3388

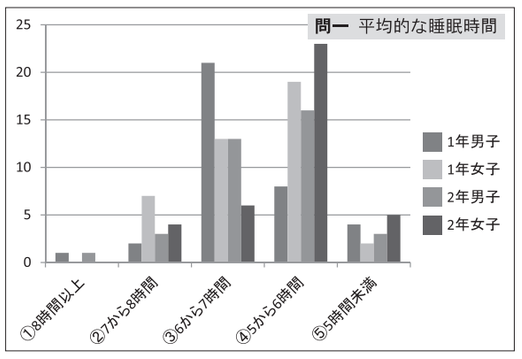
西高生の睡眠事情？

■はじめに、人間の三大欲求というと一般的に「食欲」「性欲」「睡眠欲」と言われています。また、健康な体作りでも「バランスの良い食事」「運動」と並んで「睡眠」が三大柱としてあげられます。にもかかわらず日本人の四割が睡眠不足であると言われているのが現状です。世界的に見ても日本人は男女ともに睡眠時間が短いようです。

こんな言葉を知っていますか？「睡眠負債」、これは昨年の流行語大賞トップテンに選ばれたものです。日々の睡眠不足が蓄積されていき、それらが心身に悪影響を及ぼすようになることをいいます。具体的にはうつ病や、認知症、がんなどの深刻な病を引き起こすのではないかといわれています。私達が「睡眠負債」を抱える主な要因は多すぎる仕事量やストレス、スマホなどが挙げられます。そこで部活に課題、予習と日々忙しい私たち西高生の睡眠の状況はどのようでしょうか。一年生二クラス、二年生二クラスにご協力いただいたアンケート結果から考察していきたいと思います。

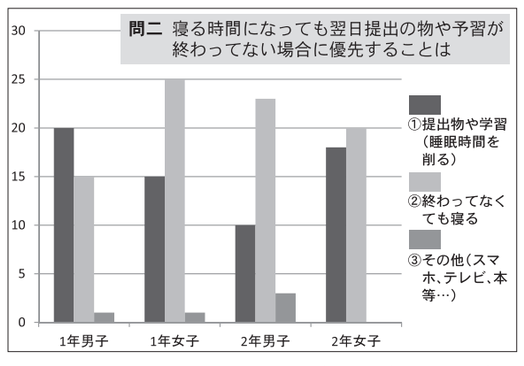
■問一平均的な睡眠時間は？

適切な睡眠時間や方法には諸説ありますが、六時間以下の睡眠は徹夜と同じ影響を身体にもたらします。今回のアンケートでは④「五時間から六時間」⑤「五時間以下」に回答した人がこれに当てはまります。結果は、一年生、二年生ともに半分以上の人が睡眠不足傾向にあるようです。平日は予習復習で一日が終わり、土日は昼間は部活、夜は課題。録画しておいたテレビを見たいし、趣味も楽しみたい。食事や移動時間、切り詰められるものは切り詰めて、それでも時間が足りないとき、私達は「睡眠負債者」になるしかないのでしょうか……。



■問二寝る時間になっても翌日提出のものや予習が終わっていない場合、優先することは？

この状況は誰でも陥ったことがあるのではないでしょうか。私は課題や予習はやっておきたいが、翌日に響くのではとたびたび葛藤しています。結果は、二年生の男女、一年生の女子は②の「終わっていなくても寝る」という回答が多かったです。一年生男子では①の「提出物や学習に睡眠時間を削ってでも取り組む」という回答が過半数を占めました。課題や予習が出来ていても授業や部活にしっかり取り組めなくては本末転倒、そうならないためにも休養睡眠は必須です。

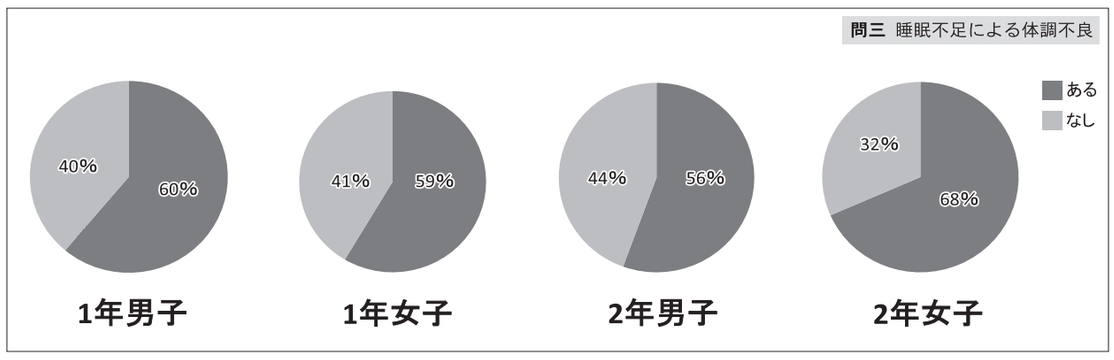


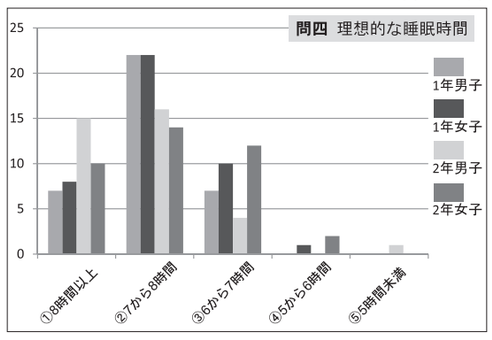
■問三睡眠不足による体調不良になった事が？

一年生男女、二年生男女ともに過半数の人が経験があると回答しています。学年別にみていくと一年生では「ある」という人が「ない」という人の一・五倍、二年生女子では「ある」という人が「ない」という人の約二倍、二学年でしかアンケートしていないのでデータは少ないですが、学年が上がると経験があるという人が増えていることから、西高がどれだけ大変かが窺えます。

■問四理想的だと思う睡眠時間は？

一般的に睡眠時間は一日八時間とるのがよいとされていますが、人間の睡眠のとり方は大きく分けて二通りあります。一つ目は「ロングスリーパー」です。これは一回の睡眠で七時間以上のまとまった睡眠をとる方法です。有名な物理学者のアインシュタインは、なんと一回の睡眠が十時間だったそうです。二つ目は「ショートスリーパー」です。これは二から三時間以下の睡眠を何セットか繰り返す睡眠方法で、偉人にはショートスリーパーが多いです。眠らないことで知られているフランス皇帝ナポレオンや現代人だとスティーブ・ジョブズがショートスリーパーで有名です。ナポレオンは睡眠について「三時間は勤勉、四時間は常識、五時間は怠惰」と言い、一日三時間しか寝ていなかったと言った話をよく聞きますが、実は二、三時間の昼寝や馬に乗っての移動中などに居眠りしていたなど、トータルすると八時間ほどの睡眠はとっていたそうです。身近な人では、明石家さんまや武井壮などがショートスリーパーで知られています。西高で七時間以上が理想と答えた人が大半でした。脳は寝ている間に記憶の整理などを行います。しっかり寝ることは大切です。六時間未満の睡眠が理想的と答えた人二・六パーセント。短い睡眠で十分休める体質なのか、ナポレオンのように昼寝でまかなうタイプなのか、何にしても短い睡眠時間で足りるのは羨ましいです。





■おわりに、ここまでアンケート結果を見てきて、私達は睡眠不足を感じている人が多いことが分かりました。また二問目の質問から睡眠の大切さを理解している人も多いことが分かりました。大学進学やその先の将来を実現させるためにも努力は確かに欠かせません。けれど、全力を出し切るためにも休養は必要不可欠。私達は忙しいとついつい睡眠を削りがちですが睡眠を削らない努力もしていきたいです。寝ている間にも脳は働く、しっかり寝ればもしかしたらアインシュタインのようなひらめきがあるかも知れません！　（加藤）

特集の感想

睡眠をいっぱいとりたいです。十時間寝ていた中学校に戻りたい。　（大森）

日常生活が充実できるよう、睡眠は大事にしたいです。　（淺沼）

僕はロングスリーパーなので、良いひらめきをしたいと思いました。　（齊藤）

勉強・部活の両立だけでなく、睡眠・課題の両立も意識しなければなりません。ぁぁやばい、眠ｚｚｚ　（宮崎）

授業中に寝るときは、節度を守りましょう。　（野口）

睡眠不足で授業中居眠り。先生にあてられた時、究極の目覚め。　（伊藤丈）

「ゆめにっき」をつければ問題ないですかね？（伊藤翔）

◆◆◆◆◆

MY SCHOOL DAYS

妹尾　岳彦　先生

私の母校は、愛知県内の私立の中高一貫校で、愛知・岐阜・三重の三県から生徒が集まる進学校でした。中高一貫校と言っても、私の場合は、その学校に高校から入学をしました。高校から入学した生徒のことを母校では、「外普」と呼んでいました。（中学から入学した生徒は「内普」です。）「内普」の子たちは、中学三年生までで、すでに高校の教科書の内容まで勉強していました。それに対して私たち「外普」は公立中学校出身の子ばかりなので、当然中学で高校の教科書の内容なんてやっていません。高校一年生の時は、「内普」と「外普」で別々にクラスが編成されます。高校生活最初の一年はとにかく「内普に追いつけ」という雰囲気のなかでものすごいスピードで授業が進んでいきました。入学式よりも先に補習が始まり、土曜の午前や、夏休みもお盆以外は補習がありました。私の家から学校までは、電車と自転車で合わせて片道一時間半。六時台の電車に乗らないと遅刻、朝補習がある時は、始発に乗らないといけない。同じ中学校どころか同じ市からその学校に通う子もおらず、部活に入っても最初から「内普」の子たちでグループができている。周りを見れば、医者や社長の息子ばかりでなんだか価値観も違う。そんな中、サラリーマンの息子で、特に将来の夢もなく、偏差値だけで高校を選んだ当時の私は、闘牛場に迷い込んだ子羊のように心細く、中々学校に馴染めないまま、忙しい高校生活をスタートさせていきました。成績は下から数えた方が早く、「背伸びせずに、普通の公立高校に進んでおけばよかった。」と思った回数は到底数えきれません。

しかし、卒業から十年が経った今ふり返れば、「この選択はこの選択で間違ってはいなかったのかな」と思います。なぜなら、この学校でしか出会えなかった友人たちがいたからです。そんな友人を何人か紹介したいと思います。

一人目は○君で、彼は両親ともに中国人で、自身の国籍も中国、卒業後は東大からGo○gleに入社をし、今もシリコンバレーで働いている。経歴を聞くとなんだか腰が引けてしまいますが普通の高校生でした。そんな彼と私は一年生の時に同じクラスになり、帰る方向も一緒だったので自然と仲良くなっていきました。彼との間に特別な思い出はありません。今でも再会した時に話すのは、文化祭準備期間の他愛もない笑い話や、二人で玉砕したダブルデートの思い出などです。日常の何気ない出来事が今ふり返ってみれば大切な思い出になっているのだと感じます。

正しい選択

二人目はS君です。彼は、「内普」で、私と同じ陸上部中距離の選手でした。感情をあまり表に出さないクールな性格で、勉強も運動もできて、可愛い彼女もいる、まさに私とは正反対の高校生活を送っている人でした。（結局卒業後は京大に進みました。）毎日一緒に練習をするけれど、自己ベストは十秒以上もの差があり、私では練習相手になりません。私はS君に対して、あこがれと劣等感を感じながら、「少しでも追いつきたい」という一心で、日々必死に練習に励んでいました。彼とは一緒に帰ったりはするけれど、一緒に遊びに行くほどには仲良くもなく、ほどほどの距離感で三年生まで進みました。

そして三年生の五月、最後の総体予選がやってきました。私は決勝に進むことが出来ずに準決勝で敗退。落ち込む私に対して、S君は「俺が妹尾の分まで県に行くから」と言ってくれました。しかし、そんなS君も決勝で、他の選手と衝突し、転倒。結局遅れをあと一歩で取り戻すことができずに、敗退してしまいました。レース後、私はS君のもとに駆け寄りました。S君は泣いていました。あのクールなS君が泣いていることが私には衝撃的でした。S君は私に「妹尾ごめん」と言いました。私は彼に何と言葉を返せば良いかわからず、ただ一緒に涙を流しました。私には、万能人間のように見えたS君も、心の中に色々な思いを抱えてここまで来たのだということを、鈍い自分はその時初めて知りました。私の高校生活で一番印象に残っている出来事です。

長くなりましたが、結局何が言いたいのかというと、「正しい選択」なんてものは、どこにもないのだということです。もし他の学校に進んでいれば、今の自分を支えている出会いや経験もなかった。最初は、馴染めず、辛い高校生活も、後からふり返れば良い思い出になるかもしれない。正しい選択などはどこにもなく、自分の選択をあとから正しかったといえるように過ごしていくことの方が大事なのだということを学んだ高校生活でした。

MY SCHOOL DAYS

郷土歴史

内藤記念くすりの博物館

皆さんの中で、一度も薬を使ったことがない、という人はいないのではないかと思います。私たちは少なからず薬を使って生きています。そして薬と私たちには切っても切り離せない関係があります。じゃあどうしてそんな関係があるのか？いつから？…と、そんな疑問を持った私。というわけで、岐阜県各務原市の内藤記念くすりの博物館に行って来ました。場所は一宮駅からバスと徒歩で行ける距離です。というより、一宮市の岐阜県に近い側に住んでいる人なら、自転車でも行けるほど近いです。少し北に行くとアクア・トト岐阜もあったりします。

さて、今回取材に行ったこの博物館ですが、製薬会社であるエーザイによって作られたものです。エーザイといってもわからない人もいると思いますが、エーザイは「チョコラＢＢ」や「トラベルミン」などで有名です。

この博物館はエーザイの製薬工場の隣に作られており、事前に予約が必要だったりしますが、製薬工場見学もできます。私たちは予約をしなくても見られる展示館へ行きました。ちなみに入場料は無料と非常にありがたいです。博物館の中はどれも興味深いものばかりでしたが、全て紹介しきれないので、一部紹介していこうと思います。

いきなりですが、皆さんは「龍角散」、「浅田飴」、「太田胃散」などといった薬を知っていますか？知っていますよね？使ったことも多いと思います。これらの薬はどれも歴史は古く、明治時代から販売されています。さらに言うと、江戸時代頃からは既に作られるようにはなっていたそうです。また、この写真に写っているのは明治時代当時の看板です。時代を感じますが、かなり目立つように金色で文字が描かれています。（写真では分かりませんが）

次は大昔の日本についてです。日本でいうと、薬というよりはお守りが中心で、例を出すと、赤くて首のカクカクするあのおもちゃ…赤べこ。会津地方の郷土玩具である赤い牛の人形で、可愛らしい見た目をしていますが、伝説では、平安時代において流行していた疫病を払った赤い牛がいたり、会津地方で天然痘が流行したときに、赤べこを持っていた子供は病気にならなかった…などと、意外とすごいものです。単純に可愛いので、機会があったら手に入れて見てはいかがでしょうか？

しかし、たとえ効果のありそうなお守りとはいえ、やはりしっかりとした薬はあった方がいいですよね。古代の日本における薬の記述は少なく、日本固有の薬があったのかよくわかっていませんが…奈良時代、遣隋使や遣唐使を通して中国から伝わったものがあります。おそらく皆さんも予想がついているでしょう、漢方です。現在も正倉院に収められているそうで、その種類は渡来した六十種類のうち三八種類の生薬。龍骨、桂心などといったものがあるそうです。

生薬、と言いましたが、もしかしたら生薬とは漢方と同じだと思っている人もいるかと思います。生薬、というのは漢方はもちろんですが、その他の民間伝承の和薬などといった東洋医療で用いられる天然由来の医薬品全てを指します。また、漢方は漢方医学の理論に基づいて、複数の生薬を組み合わせて処方するものです。つまり、明確に二つは違うものなのです。簡単に例を出すと、市販の薬では「漢方」と「生薬を配合した風邪薬」という風に明確に種類が違う物として分けられています。漢方医学の理論に基づいていない場合は漢方ではなく、生薬が配合されているだけの薬になるということです。

ところで、生薬とか漢方とかって効果はありそうだけど匂いとか味とかやばそう…そんな風に思っていませんか？その通りです。そんな生薬から、博物館にも展示されていたものを紹介。その名を「**クソニンジン**」。本当にこんな名前です。ちょっとかわいそうですが、実際にニンジンの葉に似た見た目、そして悪臭。…しかもこのクソニンジンは本州から九州にかけて普通に生えているんです。もしかしたらその辺の道端に生えてるかも…。しかしこのクソニンジン、実はすごい効果を持っているんです。日本ではあまり話題になりませんが、外国…特にアフリカなどで流行しているマラリアという病気はご存知でしょうか。マラリア原虫による感染症で、非常に猛威を振るっているこの病気ですが…このマラリアに対しての特効薬として、クソニンジンが有効なことが判明し、二〇一五年にはノーベル賞も受賞しています。名前からはとても考えられないほど有能ですが、クソニンジンを英語で言うとスウィートアニーというそうです。正直日本語の方ももうちょっと手心か何かを加えて欲しかったところですね。

そういえば私はちょうど最近、漢方を服用したのですが、本当に不味かったです。ドリンク系のものでしたが、一口飲むたびに口の中に広がる漢方特有の味と香り。しかし、効果は高く、普通のベソザブロックなどでは中々治らなかった喉の痛みが一晩でなくなりました。『良薬口に苦し』…とはよくいったものですね。皆さんも迷ったら使ってみてください。味とかは保証できかねますが。

ここまで色々書き連ねてきましたが、私は今回の取材では大事なことがわかりました。それは、『いつの時代、場所においても健康が大切』ということです。昔の人も試行錯誤して健康を維持しようとしていて、色んな薬を作ってくれたからこそ、今の私たちはより健康を維持しやすくなっています。私たちにとって勉学、部活に勤しむことはとても大事ですが、健康を維持していくことは忘れたくないですね。　（野口）

◆◆◆◆◆

取材感想

薬・医学の進歩を学ぶことができました。ところで昔の人はイッカクやサイのツノをどうやって入手したんでしょう？　（宮崎）

薬の作り方や保存方法、医学書の進歩などの歴史を知ることができました。オランダ語を日本語に訳した人がいなければ今の日本はどうなっていたのだろうか。　（木野）

医薬品が無くても、グリーンハーブとレッドハーブを調合すれば全回復できますよね！かゆ・・・うま・・・　（伊藤翔）

薬の博物館に行って言うのもなんだけど、正直気を強く持てば病気なんて治りますよ。　（野口）

みだりに薬を服してはならない。病気がかえって悪化し食欲をなくす。慎んでよく養生すれば治りやすい。貝原益軒の言葉です。　（伊藤丈）

貴重な資料を見たり、脳年齢を測定したり、楽しかったです。　（大森）

作

こんにちは、新聞部です。突然ですが、皆さん夜光雲って知ってますか？これは成層圏の上にある中間圏にできる特殊な雲で、日の出前や日没後に多く観測される気象現象だそうです。この雲が特殊な雲と呼ばれる理由は、通常の雲が地上十キロメートルにできるのに対し、夜光雲は地上約七十五～八十五キロメートルに発生すること、通常の雲が水でできているのに対し、夜光雲が氷からできていること、雲が青い光を散乱するなどがあるそうです。

また、観測するための条件もとても厳しく、日の出前や日没後でないと観測しにくいほか、発生する高度が高いために地上から見ると、通常の雲とかぶってしまうことも多く、観測のチャンスは少ないのだそうです。

なぜこの夜光雲について話しているか、（知っている、あるいは気付いている人もいるとは思いますが）それはこの日本で二〇一七年一月二四日に夜光雲が観測されたからです！

今回の場合は自然にできたのではなく、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられたＨ２Ａロケットからの排気に含まれる水蒸気が夜光雲の発生に関連しているのでないかと言われているそうです。（ウィキペディアより引用）

そんな、いろいろと不思議な夜光雲をまたの機会があるなら見てみたいですね。私は見ることができなかったので（笑）。

話は少し変わりますが、「雲が流れる」とは言いますが、「雲が戻る」って聞きませんよね。なぜでしょうか？

ここからは私の自論・経験論ですが、雲一つひとつの進む速さは違っても、進む方向が一つだけ違う方向というのは見たことがありません。ましてや、ある一方に進んでいて雲が逆方向に進む、つまり戻るなんていうのは、聞いたこともありません。これらの経験から言えることは、雲は常に進み続けている、ということです。

これは人においても同じことが言えるのではないでしょうか。人はその人生において戻ることはありません。ただひたすらに進むだけです。西高生に例えるならば、一人ひとりの夢や目標は違っても、それらを叶えたいという気持ちの方向性は同じはずです。三年生なら自身が希望する大学に合格したいとか、一・二年生なら定期考査で良い点・良い順位を取りたいとか、これも人それぞれだと思います。それでも前向きにその夢や目標に進むということは西高生の中では共通していることだと思います。

最後に、一・二年生の皆さん、来年以降も西高で自身の夢を追い求めていきましょう！そして、三年生の先輩方、大学へ行っても夢を追い求め続けてください！心から応援しています！　（木野）

編集後記

構図作りに参加しました。来年度はもっと記事作りに積極的に参加します。（大森）

自分の考えを相手に伝えることは難しいことを身をもって知りました。先生ごめんなさい。　（淺沼）

予餞会をインフルで出席できない人もいました。春は別れと出会いの季節！気持ち新たに頑張っていきましょう！　（宮崎）

初めて特集を担当しました。西高について書けて楽しかったです。　（加藤）

あまり参加できませんでしたが、大切な経験が出来ました。　（齊藤）

とりあえず、体調不良をどうにかしないとたくさんの人に迷惑をかけるので気を付けたいです。　（木野）

来年度はもっと面白い記事を書けたらいいなと思います。副部長としても頑張っていきます。　（大牧）

私は部長らしくいられたでしょうか？今まで拙い文章を読んでいただき感謝します。でもそんなことより最近ウサギが飼いたいんですよ　（野口）

和やかな新聞部は僕の心の拠り所でした。西高新聞部に栄光あれ！ちなみに僕はトカゲを飼いたいんですよ。　（伊藤丈）

記事を提出する大事な週にインフルになってしまい、各方面の方々にご迷惑をおかけしました。私はペンギンを飼いたいです。　（戸田）

二年間ありがとうございました。この部活で学んだことを人生の糧としたいです。ちなみに僕はスローロリスが飼いたいです。完全勝利しそう。　（伊藤翔）

『西高新聞』を一緒に作りませんか！特に、一年生を大歓迎。兼部でもＯＫ。